

豊栄病院 地域医療連携室だより 平成31年4月号

花が咲き、鳥も増えたような。大地の息吹を感じる。
今月も病診連携室だよりをお届けします。

臨床検討会のお知らせ

日時:平成31年**5月16日(木)** **午後7時**
場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール
講演:**アルツハイマー病の診断と治療—実地の外来
診療から 佐々木彰一先生**
共催:豊栄病院、第一三共株式会社

●3月の臨床検討会から開始時間を1時間遅らせました。5月は木曜に変更になりましたので、ご注意ください。院外からも多くの参加を。患者総合支援センター 天木まで。

●物忘れ外来(院内症例のみ対象)を開始しています。佐々木彰一先生が新しく勤務されています。



この度、ご縁があつて豊栄病院の物忘れ外来を月2回(第1および第3金曜日)担当することになりました。私は青森県八戸市で生まれ、弘前大学を卒業後すぐに総合内科研修医として東京女子医大に入りました。神経内科に入局後、ニューヨークのモンテフィオーレ・メディカルセンターでresearch fellowとして神経病理の研究に勤めました。主たる研究テーマは難病中の難病と言われる筋萎縮性側索硬化症(ALS)の電子顕微鏡的研究です。帰国後もALSの研究を続け、同時に臨床神経学全般の研鑽に努めました。東京女子医大神経内科を定年退職後は臨床神経学に特化し、地域医療に携わっています。神経内科学の守備範囲は実に広く、脳梗塞をはじめとする脳血管障害、アルツハイマー病をはじめとする認知症、パーキンソン病、神経筋疾患(ALSや重症筋無力症など)、免疫性疾患(多発性硬化症やギランバレー症候群など)、脳症

や脳炎、髄膜炎、末梢神経障害(しびれなど)、頭痛、てんかん、めまいなど多岐にわたります。しばしば頭のてっぺんから足の先まで診察する必要があるため、必然的に一人あたりの患者さんに対して、他科よりも多くの時間を費やすことになります。最近、神経学領域でも細分化された専門医制度が流行しておりますが、私は、神経内科医はオールラウンドな実力を身につけることが肝要と考えております。こちらでは主として物忘れ外来を担当致します。神経内科専門医、総合内科専門医としての知見及びこれまでの経験を生かして、地域の皆様のご協力を仰ぎながら診療に当たる所存でございます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます(佐々木彰一)。

●One of the Suggestive Cases (OSC;おすし)
今回はお休みです。

●多職種チームでの看取りの検討会

日時:平成31年**4月9日(火)**午後5時15分

場所:豊栄病院 本館5階 会議室

今回は77歳の摂食障害です。7年前にパーキンソン病を発病。今回食べなくなりました。PEGの希望は? 院外からの参加は患者総合支援センター 天木まで。

●糖尿病教室

日時:平成31年**5月17日(金)**午後1時半

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

隔月開催の糖尿病教室。対象は糖尿病初心者です。患者様の紹介の他、スタッフの参加も歓迎します。前回は2名の施設スタッフにご参加いただきました。次回は5月17日です。お問い合わせは患者総合支援センター天木へ(菊地)。

●NST勉強会

4月と5月はお休みとなります。6月まで待っていてください(小林真)。



編集: 白鳥は泣きながら帰ったけど、他の生き物の気配がするので、散歩が楽しい。センター長 柄澤良